

2017年(平成29年度)複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅱ-4(2) 健康で安心して暮らせる社会の構築(良好な水環境を確保するために)	施策No.	25	施策名	水循環の保全・再生
-----	---	-------	----	-----	-----------

目的、内容	流域一体となった水循環の保全・再生 ・森林や農地・ため池等の保全による流域の雨水浸透、貯留などの水源かん養機能の保全・回復・増進 ・節水や雨水利用の促進、地下水・下水処理水の活用等			
副次的効果、外部効果等				
関係法令、行政計画等	水循環基本法(2014年7月施行)			
国等の政策、社会情勢等				
(参考) 講じた施策に記載した施策事業コスト	2014年度(決算額)(千円) 38,024,403	2015年度(決算額)(千円) 36,044,480	2016年度(決算見込額)(千円) 32,446,102	
	※各年度で「講じた施策」への掲載事業が異なることから、新規事業の有無等に関わらず、年度間でコストの増減がある。			
取組指標及び実績(施策効果の定量評価)	①	名称 (該当なし)	把握方法	実績
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況
	森林整備			
	保安林の指定拡大	☆☆	保安林の指定	2014~16年度に253ha追加指定。
	保水機能の高い森林の育成	☆☆	森林造成事業	間伐実施面積 312ha(2014年度)、445ha(15年度)、384ha(16年度)
	農空間の保全・活用 (農地、ため池・農業用水路等の保全と活用の推進)	☆☆	農業用水路改修事業、オアシス整備事業、農空間保全地域制度推進事業	オアシス構想整備地区 計36地区(2016年度末) 遊休農地解消面積 332.7ha(2014~16年度)
	下水処理水の有効利用 (下水処理水の河川浄化用水、修景用水、散水への有効利用)	☆☆	下水高度処理水供給「Q水くん」 緑地、水路の流水への利用	高槻水みらいセンター他11処理場及び長吉ポンプ場において、散水用途のための高度処理水を無償で供給 原田水みらいセンター他7処理場内の修景用水として利用するとともに、処理場外においても修景用水や河川用水として計23箇所利用
	雨水利用			
	官民連携モデルを他地域に展開	☆☆	雨水利用の手法・事例の情報提供	ホームページで、雨水利用の事例や、市町村における雨水タンク助成制度等について情報提供
	地下水利用			
	都市部での保水能力の向上	☆☆	「みどりの風促進区域」における緑化の推進、校庭の芝生化、建築物緑化促進制度	促進区域における植樹 計約10,000本(2011~16年度) 校庭の芝生化 計182校、約20ha(~2012年度) 条例に基づく建築物敷地等緑化 累計約300ha(~2016年度)
	地下水の利用 (適切な地下水位を維持)	☆☆	地盤沈下規制指導事業	府域15箇所の観測所における地下水位及び地盤沈下の常時監視(地盤沈下の未然防止のために実施) 工業用水法等に基づく地下水の採取規制の実施 府生活環境保全条例に基づく地下水の年間採取量報告徴収の実施
	※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗			
評価		評価	理由等	
	施策目的の達成状況	—	(数値指標が無いため評価できない。)	
	事業・工程の進捗状況	概ね想定どおり進捗		
計画見直し又は改善事項		見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等	
	目標	無		
	施策の方向・主な施策	無		
	工程表	無		
	その他の改善事項	無		
関係課室	環境管理室、環境農林水産総務課、みどり推進室、農政室、都市整備部			

環境総合計画部会委員による点検(所見)	点検評価手法の適正さについて 点検評価手法の適正さについては、概ね妥当である。	評価結果について 施策目的の達成状況について、数値目標が無いから「—」ではなく、実施と計画から評価すべきである。	計画の見直し又は改善方針について 計画の見直し又は改善方針については、概ね妥当である。
---------------------	--	---	--

